

研究課題: Infantile Hemangioma Severity Scale を用いた乳児血管腫に対する客観的なプロプラノロール内服基準の検討

1. 研究の目的

乳児血管腫(いちご状血管腫)は、自然退縮する特徴的な性質をもちますが、発生部位やその大きさによっては、機能障害・潰瘍・出血・循環器障害等を引き起こす可能性もあり、また、将来の整容的後遺症が危惧される症例など、早期の治療介入が必要とされる事があります。

乳児血管腫(いちご状血管腫)に対するヘマンジオールシロップ® (プロプラノロール)の内服治療が保険適応になりましたが、その投与基準は施設や医師によって様々です。そこで、**Infantile Hemangioma Severity Scale**(以下 **IHSS**)という乳児血管腫(いちご状血管腫)の重症度を測るスケールを用いて一律に点数化を行い、投与基準を明確にすることで早期の治療介入が必要な患者さんが、どこの施設でも治療を受けることができることを目的としています。

2. 研究の方法

過去の電子カルテや診察時に同意の元に撮影した写真を元にデータを集め、ヘマンジオールシロップ® (プロプラノロール)の内服の有無による IHSS の点数を比較検討します。

3. 研究期間

2014年4月～2019年3月の間に初めて当院形成外科を受診した方

4. 研究に用いる資料・情報の種類

過去のカルテや写真などのデータ

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

学会あるいは紙面発表する場合は画像内の名前や ID 番号などの個人情報を消去し、顔面においては個人が特定されないよう目隠しなどで匿名化した上で発表します。

6. 研究組織

埼玉県立小児医療センター 形成外科 科長兼副部長 渡辺 あずさ

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さ

い。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2020年3月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター 医事担当(代表 048-601-2200)